

クラウドファンディング～解説と成功事例～

第170号を発信します。2016年02月05日(金)

【タイトル】クラウドファンディング～解説と成功事例～ 5回シリーズ：その1

著者：株式会社アープ代表
岡野 辰太郎

第1回：クラウドファンディングとは

モノづくりのクラウドファンディングサイト「SpotLight（スポットライト）」
<http://crowd-spotlight.com/>を開発・運営している株式会社アープ代表の岡野です。
今回から5回にわたり「クラウドファンディング活用法」をお届けしてまいります。

近年、資金調達的手段として「クラウドファンディング」が注目を集めています。
クラウドファンディングのクラウドは、IT で使われる雲（cloud）の方ではなく、
群衆（crowd）を意味します。クラウドファンディングとは、インターネット上の
クラウドファンディングサイトを通して、不特定多数の群衆（crowd）から資金調達
（funding）する方法となります。

クラウドファンディングは、事業家が資金調達をする方法として世界中で注目されています。
クラウドファンディングを上手く活用することで、製品やサービスの開発に必要な資金を
集めることに加え、多くの人々へ自社の製品やサービスを認知してもらうことが可能と
なります。

例えば、第2創業で新規事業を立ち上げるとします。

- 1：今までどういう事業を展開してきたのか
- 2：なぜ、その新規事業を立ち上げたいのか
- 3：そもそも、どういう事業なのか
- 4：どうやって作っていくのか
- 5：そのためには、資金がいくら必要なのか

といった情報を 1 つのプロジェクトとして、クラウドファンディングサイトへ掲載します。そして、一定期間内にプロジェクトに「共感」した不特定多数の応援者が、少額ずつ資金を出資・提供し、目的の資金が集まった時点でプロジェクトが成立します。プロジェクトの起案者は、集まった資金を元にプロジェクトを実行します。その際、プロジェクト起案者は、集まった金額の一部をサービス運営者に手数料として支払います。

～クラウドファンディングを活用するメリット～

クラウドファンディングは、プロジェクトの起案者・応援者双方にとって大変メリットがあります。

プロジェクト起案者：製品やサービスにアイデアがあり、製作するスキル等も持つものの、そのための資金が無い、そもそも一般のユーザーに知名度も無い企業が、クラウドファンディングサービスのプラットフォームを活用することで、資金調達ができるようになります。また、Facebook、Twitter 等のソーシャルメディアとの相性も大変良く、広告費をかけることなく、自社プロジェクトを伝え、応援者＆ユーザー候補者と交流ができます。

クラウドファンディングサイト上でも、応援者に活動報告をしたり、応援者からプロジェクトの応援メッセージを頂いたり、双方でのコミュニケーションが可能となっております。単なる事業者と資金提供者という関係ではなく、プロジェクトそのものの熱狂的なファンづくりの場として活用できます。

特に、新規プロジェクトの立ち上げ時期に必要な「潜在顧客」を獲得できるチャンスが生まれます。

また、クラウドファンディングを行うことにより、プロジェクトが成功するか否かによって、テスト・マーケティングをすることもできます。

プロジェクト応援者のメリット：アイデアの面白い製品に、インターネットを活用して少額から気軽に応援できます。また、プロジェクトを応援したことをきっかけとして、起案者とコラボレーションして仕事を創り出していく可能性が生まれます。

実は、クラウドファンディングを応援する人々の中には、こうした新規プロジェクトへ関わる可能性を模索するエンジニア・クリエイター等も沢山います。

今回は、世界中で、様々なクラウドファンディングサイトのプラットフォームが爆発的に誕生する中、自社にとって適切なサービスを選択するにあたり、こういった種類のタイプのクラウドファンディングサイトを選択するべきかについて解説させていただきます。

どのプラットフォームを活用しても同じではなく、それぞれ自社の新規プロジェクトに沿った最適なプラットフォームを選択する必要があります。是非、最適なプラットフォームを選択

して、自社プロジェクトを成功させましょう！

=====

◆◆はやぶさ 3 周年・感謝キャンペーン◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

お蔭さまで 3 周年・皆様のご愛読に感謝いたしております。

マイナンバー元年のお年玉 ★手引書・無料プレゼントのご案内★

新年 1 月 1 日より、マイナンバー制度の運用が始まります。

皆様、準備は進んでおりますか？

ご愛読者の皆様への感謝としまして、「無料」で進呈します。

手順通りやれば誰にでもできる

マイナンバー制度導入運用手引書 定価：1000 円＊無料進呈

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・始業／終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016 年に実施する課題の準備をする（現法令の場合）
- 8) 付表 MyNa 問診シート

＊お申込みは下記のメールアドレス宛に、
「お名前、社名、所属部署、〒・住所（必須）、URL（ある場合）」を
ご記入の上、メールしてください。

happy@keiei-tokkunshi.jp

◆クロネコ DM 便でお送りします◆

◆第 4 4 回「トライアルゲーム」（5 時間コース）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■「トライアルゲーム」（初回体験受講）の場合はテキスト代 1,000 円

特典として 小冊子「マイナンバー制度導入運用手引書 定価：1000 円」を

差し上げます。

毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も体得できます。

- 1) 02月13日(土) 13:30~18:30 「経営特訓道場」JR駒込駅南口 徒歩6分
東京メトロ南北線駒込駅1番出口 徒歩5分

ご案内は以下に掲載しています。

http://keiei-tokkunshi.jp/data/mls723lpdf_1_92.pdf

=====

◆経営相談は

http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAXください。

FAX : 03-5832-9404

=====

一般社団法人 経営特訓士協会(略称:KTGA)

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス: happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者: 理事長 平本 靖夫、 編集: 理事 石川 昌平

配信解除URL: 配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@ho